

代表的な岐阜県の水稲栽培こよみ(品種:あきたこまち(中山間地域))

『あきたこまち』の品種特性
 (1)品質が安定している早生品種である。

『土づくりのポイント』
 (1)秋耕起と排水の励行。 (2)稲わら全量還元又は堆肥等有機質の適度な投入。
 (3)ニュー味カアツブ(80kg)施肥。 (4)深耕(目標18cm)

月別	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11~3月	
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中		下
生育過程		播種	育苗期		移植期	分けつ期	確保期			幼穂形成期	穂ばらみ期	出穂		登熟期		収穫期							
作業名	①種子消毒	②耕起 ③基肥施用 ④代かき		⑤箱施葉散布 ⑥雑草防除 ⑦中間追肥		⑧早期中干し		⑧中干し(かかとが3cm沈む程度)		⑩病害虫防除(1) ⑪穂肥散布(1)	⑫穂肥散布(2) ⑬病害虫防除(2)	出穂	⑭病害虫防除(3)		⑮落水	⑯収穫						⑰土づくり資材の施用	⑱秋冬耕起の実施
水管理				除草剤		中干し	⑨間断灌水	中干し				浅水			落水								

作業名	内容(目的)	使用資材名	10a当たり施用量
①種子消毒	種子伝染性病害防除のための初消毒	ヘルシードT7フロアブル	200倍に種子浸漬(24時間)
	イネシカレセンチュウ防除	スミチオン乳剤	1000倍に種子浸漬(24時間)
②耕起	代かきに向けての碎土	—	—
③基肥散布	(普通肥料)初中期生育に必要な肥料散布	新めぐみの基肥化成	30kg
	(一発肥料)生育~登熟に必要な肥料散布	エムコート583	30~35kg
④代かき	漏水防止と田植えのための碎土・均平	—	—
⑤箱施葉散布	いもち病や害虫防除のために、箱施葉剤散布	Dr.オリゼ'プリンス粒剤10	50g/箱
⑥雑草防除	稲の生育を阻害する雑草防除(初中期一発処理剤)	ハッチリ1キロ粒剤 又はハッチリフロアブル 又はテラガードLジャンボ	1kg 又は500ml 又は250g
	体系処理(初期剤+初中期一発) ※ →	サクト'VEW+ ウイター1キロ粒剤51 サクト'VEW+ ブイコールSM1キロ粒剤	500ml+1kg 500ml+1kg
⑦中間追肥	茎葉硬化による倒伏防止と稲の登熟を向上	マルチサポート1号 又はけい酸加里プレミア34	30~40kg

作業名	内容(目的)	使用資材名	10a当たり施用量
⑧早期中干し・中干し	肥料の効かせ方の調節と根への空気(酸素)補給	—	—
⑨間断灌水	根の生育に必要な空気(酸素)と水を補給	—	—
⑩病害虫防除(1)	いもち病防除	コトップ粒剤5	3~4kg
⑪穂肥散布(1)	稲の登熟充実のため追肥(一発肥料使用時は不要)	めぐみの追肥化成	20kg
⑫穂肥散布(2)	稲の登熟充実のため追肥(一発肥料使用時は不要)	めぐみの化成追肥	10kg
⑬病害虫防除(2)	紋枯病防除	リンパー粒剤	3~4kg
⑭病害虫防除(3)	ツマゲ'ロコハイ、ウンカ類、カメムシ類等の駆除	スタークル粒剤	3kg
⑮落水	稲の登熟を促し、収穫の作業性を良くするため収穫1週間前に落水	—	—
⑯収穫	品質低下を防ぐため、適期収穫の実施	—	—
⑰土づくり資材	稲の生育のための土づくり	ニュー味カアツブ	80kg
⑱秋冬耕起	有機物、土づくり資材のすき込み、作土深確保のための田起し	—	—